

虚血性心筋症の患者さんを対象とした

心筋再生医療を受けてみませんか？

心筋再生医療とは？

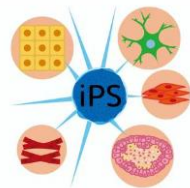
再生医療とは、機能障害や機能不全に陥った体の組織や臓器に対して、細胞や人工的な材料を利用して、損なわれた機能の再生をはかるものです。これまで治療法がなかった病気に対して、新しい医療をもたらす可能性があります。

心筋再生医療は、薬物治療や冠動脈バイパス手術などの標準治療で効果が不十分な虚血性心疾患による重症心不全の治療の新たな選択肢として期待されています。



iPS細胞とは？

人間の皮膚や血液などの体細胞に、ごく少数の因子を導入し、培養することによって、様々な組織や臓器の細胞に分化する能力とほぼ無限に増殖する能力をもつ多能性幹細胞に変化します。この細胞を「人工多能性幹細胞」と呼びます。英語では「induced pluripotent stem cell」と表記しますので頭文字をとって「iPS細胞」と呼ばれています。



<当院で実施中の心筋再生医療の治験>

冠動脈バイパス術と併せて iPS 細胞由来の心筋細胞（心筋球）を移植する治験

※治験とは：

新しい治療法が世に出るためには、その治療の「有効性」「安全性」等を調べた試験の結果を厚生労働省が審査し、承認する必要があります。これらの試験の中で人に対して行われる試験を「治験」といいます。

<ご参加いただける方>

- ・安静時における左室駆出率が 40%以下
 - ・NYHA 心機能分類がⅡ度以上
- （※その他にも条件があります。詳しくはお問い合わせください。）

対象年齢：20歳～80歳

参加期間：約1年間

募集期間：2020年4月～2023年3月

東京女子医科大学病院 心臓血管外科 市原 有起

<お問い合わせ先>

心臓血管外科 TEL：03-3353-8111（内線 23111・28443）

ご興味がある方、ご協力頂ける方は上記までお問い合わせください。